

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20280
事業名	意思疎通支援費					
評価担当課	所属名	保)障がい保健 障がい福祉課				
	課長名	木下 健二	担当者名	荒木 駿	電話番号	011-211-2936
施策名	主	地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	手話通訳者、要約筆記者及び盲ろう者通訳・介助員の円滑な派遣及び養成を実施する。また、失語症者向け意思疎通支援者及び支援者を養成するための指導者養成を実施する。			
		長期	ろうあ者や中途失聴者、盲ろう者、失語症者等の意思疎通等を支援し、福祉の増進を図る。			
	取組内容	【目的】ろうあ者や中途失聴者、盲ろう者、失語症者等の意思疎通等を支援し、福祉の増進を図る。 【内容】 ①手話通訳者等養成派遣事業：手話通訳者等の派遣及び養成 ②要約筆記者等養成派遣事業：中途失聴者・難聴者のための要約筆記者の派遣及び養成 ③盲ろう者通訳・介助員養成派遣：重度の盲ろう者の外出時の付き添い、通訳及び代読等を行う通訳・介助員の派遣及び養成 ④失語症者向け意思疎通支援者及び指導者養成、失語症者向け意思疎通支援者及び指導者の養成				
実施結果	手話通訳者、要約筆記者、盲ろう通訳・介助員の養成・派遣及び失語症者向け意思疎通支援者の養成を行い障がい者等の支援を実施した。					
事業実施における工夫点	コロナ禍であることを踏まえ、オンラインと対面のハイブリッド開催などを対応した。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	障害者総合支援法、①札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱、②札幌市要約筆記者派遣事業実施要綱③札幌市盲ろう者通訳・介助員派遣事業実施要綱					
他都市の状況	地域生活支援事業の必須事業のため、他都市においても同様の事業を実施している。					

◎事業費

(単位：千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	81,273	92,000	84,221	95,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.3	0.3	0.3	0.3	
人件費	2,160	2,160	2,160	2,160	
計(事業費+人件費)	83,433	94,160	86,381	97,160	
事業費の内訳	令和3年度決算	○手話通訳者養成・派遣事業…68,922千円 ○要約筆記者養成・派遣事業…7,389千円 ○盲ろう者通訳・介助員派遣事業…7,065千円			
	令和4年度予算	○手話通訳者養成・派遣事業…70,751千円 ○要約筆記者養成・派遣事業…10,861千円 ○盲ろう者通訳・介助員派遣事業…9,657千円 ○失語症者向け支援者養成・派遣事業…3,605千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	年間派遣件数【手話】			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	3930	4814	4577	4455	
活動指標2	指標名	年間派遣件数【要約筆記】			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	120	918	248	918	
成果指標1	指標名	年間派遣件数【盲ろう】			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	517	893	573	893	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	手話通訳者、要約筆記者、盲ろう通訳・介助員の養成・派遣及び失語症者向け意思疎通支援者の養成を行い障がい者等を支援をしている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	事業費を削減すると、サービスの質の低下や派遣及び養成を実施できなくなることが懸念される。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	直営で実施することが困難な事業であるため、現行どおり事業所等に委託して実施することが適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	盲ろう通訳・介助員派遣については年360時間の上限があるため、拡充が求められている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	盲ろう通訳・介助員派遣上限の拡充を検討する。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	意思疎通に支援が必要な障がい者等にとって重要な制度であるため、今後も継続して行う必要がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 障がい者等がより使いやすい制度に改善することにより、障がい者福祉の向上を進めていく。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 予算規模を拡充し障がい者等がより使いやすい制度に改善する必要がある。		見直し効果額	0 千円